

ほけんだより

5月



埼玉大学教育学部
附属特別支援学校
保健室
H30.5.2 発行



こんげつ ほけんもくひょう あんぜん うんどう
今月の保健目標：安全に運動しよう



給食特集



学校給食は、教育活動の一環として大切に位置付けられています。学校給食は、成長期の子どもたちにとって、食生活に関する知識や理解を深めていくことをはじめ、心の交流の場としても大きな意義をもっています。

本校の給食は、附属小学校から届きます。附属小学校給食室のメンバーを紹介します。

《附属小学校》

栄養教諭（献立担当）：石山 結加里
調理員（調理担当）：勝又 宣恵
田中 真理
星野 実加子
江口 陽子
浅見 志津子
三浦 香織
後藤 利佳
渡邊 博美
横内 美由樹

安心・安全・
おいしい給食
を心を込めて
作ります。



そして、附属小学校から届く給食を受け取って、配膳の準備をしているのが本校の配膳員です。

《附属特別支援学校》

配膳員（配膳担当）：馬場 康子
桑原 まゆみ

どうぞよろしく
お願いします。



《食物アレルギーの対応について》

附属小学校及び附属特別支援学校では、食物アレルギーのある児童生徒も、事故なく安全に学校生活をおくることができるように、文部科学省の指針に沿った対応をしています。

具体的には、医師の指導により「学校生活管理指導表」を提出していただき、それをもとに面談を実施し、給食での対応を決定しています。

なお、本校では施設および設備上の理由から除去食は提供しておりません。

《給食の時間における食に関する指導の内容》

～食に関する指導の手引き/文部科学省より～

①楽しく会食

（食事のマナー、人間関係を深める）

②健康によい食事の取り方

（食品の種類や働き、栄養のバランス）

③食事と安全・衛生

（手洗い、食事の準備、配膳、後片付け）

④食事環境の整備

（適切な食器、盛り付け、環境や資源への配慮）

⑤食事と文化

（郷土食、行事食、地域の食料の生産、流通、消費）

⑥勤労と感謝

（協力、感謝）



給食の時間が、家庭での食事の時間につながるように、また、家庭での食事の時間が給食の時間につながるように、学校と家庭と手を取り合って、連携していきましょう。